

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E119P008		小学校教材研究 (Teaching Materials of Elementary School Education)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修(H31以前入学生)/選択必修(R2以降入学生)	2	3	教育学部			氏名 松田聡 / 田中修二, 廣瀬剛, 村上佑介 / 川田菜穂子, 財津庸子, 都甲由紀子 / 玉江和義										
						E-mail matsat@oita-u.ac.jp / tnkshj@oita-u.ac.jp, hirotake@oita-u.ac.jp / kawata@oita-u.										
授業の概要	音楽、図画工作、家庭、体育の4教科につき、各教科に対する授業実践力を向上させるために、小学校の教科書掲載の教材などを具体的に取り上げて検討し、それぞれの教材を扱うための知識・技能を確かなものとして、教育実習(初等)につなげる。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 4教科それぞれの教材のあり方の特徴を説明できる。																
目標2 教科ごとの特性に応じた教材研究ができる。																
目標3 それぞれの教材にふさわしい授業の工夫ができる。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 授業ガイダンス																
2 音楽(1):表現領域(1):音楽づくり																
3 音楽(2):表現領域(2):歌唱																
4 音楽(3):鑑賞領域																
5 図画工作(1):表現領域(1):平面																
6 図画工作(2):表現領域(2):立体																
7 図画工作(3):鑑賞領域																
8 発展的研究(1):芸術に関わる教材開発																
9 家庭(1):分野横断的な教材の研究																
10 家庭(2):グループによる教材の検討																
11 家庭(3):発表・相互評価の手法																
12 体育(1):体育授業のための教材開発(1)(その立脚点と基本について)																
13 体育(2):体育授業のための教材開発(2)(応用と実践について)																
14 体育(3):体育授業のための教材開発(3)(保健)																
15 発展的研究(2):健康・生活に関わる教材開発																
ラーニング	A:知識の定着・確認	毎回、ワークシートへ記入させるなどして、学生の理解度を確かめる。				工夫 その他	Moodleの活用(フォーラム等)									
	B:意見の表現・交換	グループワークや発表・相互評価を行う。														
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	授業担当教員の指示に従い、次回の準備をすること(15h)。														
	事後 学修	小学校教科書の該当ページ等を参照し、各回の内容を振り返ること(15)。														
教科書	各教科の教科書(具体的には初回ガイダンスの際に説明する)															
参考書	『小学校学習指導要領』『小学校学習指導要領解説』文部科学省(平成29年告示)具体的には初回ガイダンスの際に説明する)															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	授業への参加意欲・態度	40%														
	レポート等	60%														
	「レポート等」の出題の仕方は教科により異なるので、必ず各教科の授業時の説明を確認すること。															
注意事項	初回到授業に関する基本的な説明をするので、受講予定者は必ず出席すること。															
備考	なし															
リンク																
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	都甲由紀子（高等学校情報科教諭） 村上佑介（特別支援学校教諭【美術】、高等学校教諭【美術】）
実務経験を いかした教 育内容	高等学校情報科教諭としてプレゼンテーション実習を担当した経験を活かして、情報機器を扱って課題を設定し、実習をする。